

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県(代表) 大田原市	(栃木県) 90000 (大田原市) 92100	2	平成20年度～ 平成23年度	平成20年度
活性化計画の区域				
磯上地区活性化計画は、栃木県大田原市磯上地区の受益6.1haを計画区域とし、当該地区の農道L=861mを整備することにより野菜等集出荷時における荷傷みを防止し高品質の農産物出荷、農作業の効率化と農業に対する意欲の向上が図られる。 これにより、安定した農業経営の持続を目標として策定したものである。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	6.1ha	6.1ha	100%	

(コメント)

事業活用活性化計画の目標値に対して100%達成された。
また、活性化計画の目標である、「当地域の定住化を促進、農家戸数の維持」について、平成23年3月末の2010農林業センサスより確認したところ、農家戸数23戸と計画時の農家戸数(2005農林業センサス)が維持されており、当該農道を整備したことにより農作業の効率化が図られ、今後においても地元住民の定住促進に結びつくものと思われる。

2 目標達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
土地改良施設保全	農道工 L=861m W=4.0m			大田原市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
大田原市	平成20年度	平成20年度	平成21年3月24日	
事業の効果				
農道を整備したことにより、野菜の集出荷時の荷傷み防止及び搬出時間の短縮等の営農条件が改善されたことで農作業の効率化が図られた。				

3 総合評価

(コメント)

[大田原市]

当地区の当該道路は、利用頻度が高いにもかかわらず砂利道であり、荷傷み等生産物の輸送に著しく支障を来していたが、本事業により整備されたことで、野菜等の荷傷み防止や農作業の効率化が図られた。また、当地域の定住化を促進し農家戸数23戸の維持を図る目標についても達成された。

[栃木県]

本事業により農道が整備されたことで、道路として施設機能が向上し営農条件が改善され、農業経営の向上が図られた。

4 第三者の意見

(コメント)

大田原市農業委員会 会長 五江淵 皓

当該道路は磯上地区でも利用頻度が高い農道であり、農道が整備されたことで地域営農条件が改善された。

今後も安定した農業経営及び磯上地区の更なる農業経営者の増加を期待したい。